



2018 国際理解・交流発表会



11月8日（木）に本校の大きな行事の一つでもある『国際理解・交流発表会』が行われました。

午前には1～3年生の生徒たちが海外研修や修学旅行、ボランティア、コーヒーについての発表をし、留学生2人も自国について発表しました。

午後は日本ボッチャ協会の村上光輝氏をお招きし「ボッチャから得たこと」をテーマに講演していただきました。

発表する生徒たちは時間をかけて一生懸命準備をしてきました。本番では緊張しながらも素晴らしい発表をしていました。発表を聞いている生徒たちは各発表の評価や感想を書き熱心に耳を傾け話を聞いていました。

多様な国や文化、パラリンピックの競技であるボッチャなどについて知ることができた貴重な時間となりました。ぜひ今日をきっかけに多くの生徒に様々な研修や国際活動に挑戦してほしいと思います。



海外研修について発表する生徒



英語で落語『寿限無』を披露



自国の韓国・メキシコについて日本語で発表するソンとヒメナ



おいしい～☺♪

以前富久栄珈琲の中島さんにお越しいただきコーヒー講座を開催しました。その時参加した生徒たちがコーヒーを淹れて生徒たちにふるまいました！今回はナチュラルとウォッシュドの2種類を用意しました☺



たくさんの方が壁に貼られた AUS 研修や修学旅行などの掲示物にも目を通していました！



午後の部 講演会『ボッチャから得たこと』

講師：日本ボッチャ協会 強化指導部長 村上光輝氏

福島県生まれ、福島県立石川養護学校勤務などを経て、現在はボッチャ日本代表コーチとして2012年のロンドンパラリンピックではチームを7位、2016年のリオデジャネイロパラリンピックでは銀メダルに導く。

ボッチャはヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツ。パラリンピックの正式種目。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



ボッチャを体験する生徒たち